

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成28年2月4日(2016.2.4)

【公表番号】特表2015-510104(P2015-510104A)

【公表日】平成27年4月2日(2015.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-022

【出願番号】特願2014-547370(P2014-547370)

【国際特許分類】

G 0 1 N	21/59	(2006.01)
C 0 8 J	9/00	(2006.01)
C 0 8 L	23/02	(2006.01)
A 6 1 F	13/15	(2006.01)
G 0 1 N	21/17	(2006.01)

【F I】

G 0 1 N	21/59	D
C 0 8 J	9/00	C E S A
C 0 8 L	23/02	
A 4 1 B	13/02	Z
G 0 1 N	21/17	A

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月11日(2015.12.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 5 0】

この開示は、趣旨及び範囲から逸脱することなくさまざまな修正及び変更が可能である。したがって、本開示は、上記の実施形態に限定されないが、以下の請求項及びすべてのその等価物に詳述する制限によって規制される。本開示は、本明細書に具体的に開示されていない要素を欠いても適宜実施され得る。本発明の実施態様の一部を以下の項目[1] - [15]に記載する。

[1]

物品中の第1の構成要素の存在又は位置を検出する方法であって、

前記物品を入射光で照射することであって、前記第1の構成要素が前記入射光に対して既定の応答を有する、ことと、

前記被照射物品から受ける光を検出することと、

前記被照射物品から受ける前記光における前記第1の構成要素の前記既定の応答を識別して、前記第1の構成要素の存在又は位置を検出することと、

を含み、

前記第1の構成要素が半結晶性ポリオレフィン及び - 核形成剤を含むミクロ多孔性フィルムを含む、方法。

[2]

前記ミクロ多孔性フィルムが、構造化フィルムである、項目1に記載の方法。

[3]

前記ミクロ多孔性フィルムが、ミクロ多孔性フィルム裏材及び前記ミクロ多孔性フィルム裏材に付着した直立柱を含む、項目2に記載の方法。

[4]

前記第1の構成要素が、機械的締着パッチである、項目3に記載の方法。

[5]

前記入射光及び前記被照射物品から受ける前記光が、赤外光を含み、前記第1の構成要素が、基本的に赤外線プロッキング剤を含まない、項目1～4のいずれか一項に記載の方法。

[6]

前記第1の構成要素が、基本的に、二酸化チタン、硫酸バリウム、酸化マグネシウム、炭酸カルシウム、ポリテトラフルオロエチレンミクロビーズ及びポリオレフィンミクロビーズからなる群から選択される赤外線プロッキング剤を含まない、項目5に記載の方法。

[7]

前記第1の構成要素が、250ナノメートル～2250ナノメートルの波長範囲において、65パーセントまでの透過率パーセントを有し、及び／又は前記第1の構成要素が、40までのグレースケール値を有する、項目1～4のいずれか一項に記載の方法。

[8]

前記半結晶性ポリオレフィンが、プロピレンホモポリマー、プロピレンと他のオレフィンとのコポリマー、又はポリプロピレンホモポリマーと異なるポリマーとのブレンド、のうちの少なくとも1つを含む、項目1～4のいずれか一項に記載の方法。

[9]

前記物品が物品の移動集団の中にある、項目1～4のいずれか一項に記載の方法。

[10]

前記物品の移動集団の中の少なくとも幾つかの前記物品が相互連結している、項目9に記載の方法。

[11]

前記物品が使い捨て吸収性物品である、項目1～4のいずれか一項に記載の方法。

[12]

検出することが、前記被照射物品から受ける前記光から画像を作成することを含み、識別することが、前記画像中の前記第1の構成要素の前記既定の応答を識別して、前記第1の構成要素の存在又は位置を検出することを含む、項目1～4のいずれか一項に記載の方法。

[13]

前記第1の構成要素が前記物品中に適切に配置されているかどうかを決定するために、前記第1の構成要素の前記検出された位置を参照データと比較することを更に含む、項目1～4のいずれか一項に記載の方法。

[14]

前記入射光が放射線源から発生され、前記被照射物品から受ける前記光が前記物品を通じて検出器に送られる、項目1～4のいずれか一項に記載の方法。

[15]

物品において使用するための機械的締着構成要素を調製する方法であって、
ポリプロピレン及び
-核形成剤を含むポリマー組成物の融解物を工具の存在下で押し出し、直立締着要素を持つフィルム裏材を提供すること、

前記フィルム裏材の少なくとも一部を、
-球晶の形成に十分な温度に冷却すること

、

前記
-球晶を含有する前記フィルム裏材を延伸し、前記物品が光源及び光検出器を含む検査システムにかけられた場合に、前記機械的締着構成要素が検出されるのに十分な多孔性を持つミクロ多孔性フィルム裏材を提供することと、

を含む方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

物品中の第1の構成要素の存在又は位置を検出する方法であって、
前記物品を入射光で照射することであって、前記第1の構成要素が前記入射光に対して既定の応答を有する、ことと、

前記被照射物品から受ける光を検出することと、

前記被照射物品から受ける前記光における前記第1の構成要素の前記既定の応答を識別して、前記第1の構成要素の存在又は位置を検出することと、

を含み、

前記第1の構成要素が半結晶性ポリオレフィン及び - 核形成剤を含むミクロ多孔性フィルムを含む、方法。

【請求項 2】

前記ミクロ多孔性フィルムが、構造化フィルムである、又は、前記ミクロ多孔性フィルムが、ミクロ多孔性フィルム裏材及び前記ミクロ多孔性フィルム裏材に付着した直立柱を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 3】

前記入射光及び前記被照射物品から受ける前記光が、赤外光を含み、前記第1の構成要素が、基本的に二酸化チタン、硫酸バリウム、酸化マグネシウム、炭酸カルシウム、ポリテトラフルオロエチレンミクロビーズ及びポリオレフィンミクロビーズからなる群から選択される赤外線プロッキング剤を含まない、請求項1～2のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 4】

物品において使用するための機械的締着構成要素を調製する方法であって、

ポリプロピレン及び - 核形成剤を含むポリマー組成物の融解物を工具の存在下で押し出し、直立締着要素を持つフィルム裏材を提供することと、

前記フィルム裏材の少なくとも一部を、 - 球晶の形成に十分な温度に冷却することと、

前記 - 球晶を含有する前記フィルム裏材を延伸し、前記物品が光源及び光検出器を含む検査システムにかけられた場合に、前記機械的締着構成要素が検出されるのに十分な多孔性を持つミクロ多孔性フィルム裏材を提供することと、

を含む方法。